

中央材料部

■ スタッフ

部長 須藤 啓広
副部長 長谷川 正裕
助教 内田 勝則
師長 奥 成子
技術職員 常勤 1名
 (第一種滅菌技師・特別化学物質など作業主任者)
技能補佐員 非常勤 7名
 (第一種滅菌技師1名・第2種滅菌技師2名)

■ 部門の特色

1. 特色

中央材料部では、医療材料の洗浄・滅菌・消毒・各部門への提供と物流の適正管理（購入を含む）及び医療材料の選定を行っております。

■ 活動体制

1. 医療材料の洗浄・滅菌・消毒・各部門への提供

各部門、診療科に洗浄・滅菌・消毒を行った医療材料を、滞りなく提供しています。

2. 物流の適正管理

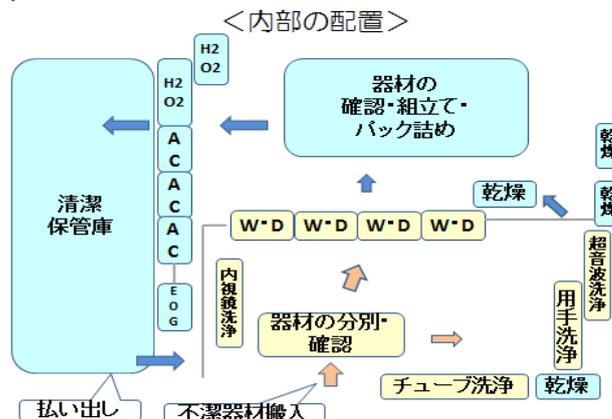
院内SPD(Supply Processing & Distribution)方式を採用し、使用される物品の購買・保管・供給を行っています。ラベルによる定数管理では、各診療科が消費する物品のうち、消費頻度が高いものに各々定数を設定し、定数に合わせた供給を行っています。また、定期的に消費サイクルの確認を実施し、定数の見直しを行うことで期限切れ等の無駄を削減する努力を行っています。

3. 医療材料委員会

各診療科から申請のあった新規医療材料の採用審査は、奇数月に開催される医療材料委員会において行っています。当委員会では、診療行為における安全性・有効性・効率化はもとより、1増1減の原則（※在庫品の死蔵化防止）や定価、償還価格に対する購入価格のチェックを行い病院運営の健全化を図ることを目的としています。また、併せて医療材料の適正な使用・管理に関するルール整備等も行っています。

■ 活動内容

1) ゾーニングの実践



2) 使用機器

ベリメド社製
 ウォッシャーディスインフェクター4台
 アスカメディカル社製チューブ洗浄機
 (ASK-6500ST) 2台
 チューブ乾燥機 1台



WD



チューブ洗浄機と乾燥機

サクラ精機社製のオートクレーブ 3台
 サクラ精機社製ガス滅菌器 1台

E O G滅菌器とエアレーション



ジョンソン&ジョンソン社製の過酸化水素滅菌器
 (ステラッド 200 1台・ステラッド NX 1台)
 NITI-ON 社製超音波洗浄機 (VS-SONIC) 1台

3) 各部署の作業風景

ソイルドルーム



サクラサプライマネジメントシステムの活用



セットパックルーム



クリーンルーム



病棟・外来の滅菌器材については、ダイコクシステムサービスの滅菌・衛生材料管理システムを導入しています。滅菌パック全てにラベルが貼られ、使用した器材の搬送時、ラベルも同時に中央材料部に回収されるシステムです。器材の在庫管理、滅菌期限切れ管理ができ、結果、不良在庫の器材の低減化ができるようになりました。

■ H27 年度実績

機能評価	合格
材料委員会	7回
新規材料申請	46件
医療材料費	約 36000 万円 U P
SUD の院内使用ルールの制定	
滅菌実績	
滅菌回数	40773 件
(内訳) AC	32712 件
EOG	2732 件
VHP	5327 件
手術部門 払い出し実績	42512 個
(内訳) コンテナ	8358 個
単包	34154 個

■ 今後の課題

医療材料の開発・改良は日進月歩であり、今後、高機能化・細分化が益々すすむことが予想されますが、より安全で効率的かつ経済的メリットの高いデバイスを採用し、無駄のない医療資源の管理を追究してまいります

H28年度 材料費削減目標 1億円
過酸化水素滅菌器の選定準備

その他のシステム

手術器材は、サクラ精機社製サクラシステムを活用し、手術器材の回収時の患者 ID ひも付け、回収データ確定、刻印セット組入力・ラベル発行・滅菌入力(ハンディターミナルを使用し、カート NO・積載入力・滅菌開始・終了入力による物品のトレーサビリティを確保しています)